

# 子ども食堂



## 利用状況とその他の活動

「子ども食堂 てんとうむし」の利用者は0歳～70歳くらいまでで、子どもだと男の子の方が利用率は高く、常連になる子が多いです。食事以外にも、子ども祭りなどの楽しいイベントを開催するなど、子どもたちが楽しめる活動もたくさん行っています！



## 食品の入手方法はなんと寄付！

「子ども食堂 てんとうむし」の食品の入手方法は、寄付です。企業や農家、個人の家庭など、さまざまな人からほぼ毎日のように何らかの食材を届けてもらっています。「力になれることがあるなら、なりたい」という皆さんの温かい気持ちが、この食堂を作り上げています！



## 子ども食堂って何？

「子ども食堂」は、その名の通り、子どもに対し無料または安価で温かく栄養のある食事を提供する場です。食事を提供する対象は、子どもだけではなく、保護者や地域住民など、大人も気軽に利用することができます。大人が食事をしてお金を支払うことで、その利益を子どもの食事を用意する費用に充てるという仕組みになっています。

また、経済的に困窮しているかどうかに関係なく利用でき、近年問題になっている、一人で食事を取る「孤食」の解消や食育、地域の交流の場としての一面もあります。

現在、日本には7,300件以上の子ども食堂があり、安心安全な地域づくりに貢献しています。

今回は、「子ども食堂 てんとうむし」への取材を行いましたので紹介します！

## 伊勢崎市の皆さんへ

「子ども食堂 てんとうむし」は、大人でも子どもでも、気軽に1人で来られる場所なので、コミュニティの場として活用してもらうことも大歓迎です。食事をせずに、お茶を飲みながら話をするだけでも大丈夫です。

興味がある人はぜひ一度「子ども食堂 てんとうむし」に来てみてください！色んな刺激がもらえると思います。お待ちしております！

## 食事の価格と献立

価格は、高校生以下は無料、大人は800円です。大人の食事代に加えて、200円で購入できる支援チケットにより、子どもの食事代が無料になっています！献立は当日ある食材や寄付された野菜などを見て決めます。1食につき5種類ほどのおかずを考え、ワンプレートで提供することが多いです。おかわり自由で、子どもたちからのリクエストにも可能な限り対応しています。



## 子ども食堂を始めたきっかけ

大学生の頃に農家の手伝いをしていたことがあり、春野菜・夏野菜を作っていました。その時に、春から夏にかけての間の時季は、次の野菜を作るために収穫した野菜を全て捨ててしまうのを目の当たりにして、このフードロス何か他に利用できないかと思ったことが子ども食堂を始めようと思ったきっかけです。

子ども食堂 てんとうむし  
代表 小長谷 真里 さん